

昭和十二年一月二十三日 第三種郵便物認可
昭和十八年八月二十五日 印刷 納本
昭和十八年九月一日 (毎月一回一日發行) 禁轉載

道路の改良

第二十五卷
第九號

社団法人
道路改良會

鋪裝報國

鋪

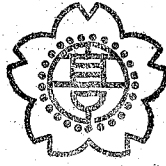
日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京都淺草區花川戶一ノ一松屋ビル七階

電話淺草(84)八二四一・八二四二・八二四三
東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

土木建築
道路鋪裝
工事請負



株式會社 高野組

本社

東京都京橋區越前堀二丁目一番地
電話京橋(56) 一、九二三番・七、三二〇番
七、八二五番・八、〇七二番

倉庫

東京都品川區東品川三丁目三番地
電話高輪(44) 五、三四〇番

福岡出張所

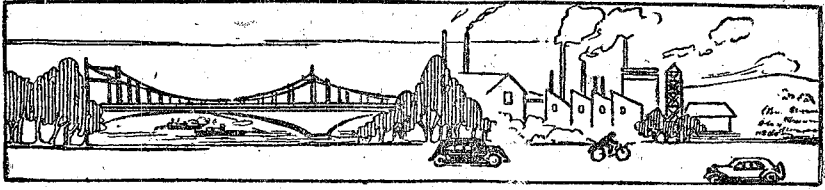
福岡縣糟屋郡和白村奈多
電話和白 二、一八番

青森出張所

青森縣上北郡三澤村古間木
電話古間木 三、七番

上海出張所

上海市西陸戰隊通り一八五
電話(02) 八三九五〇番



道路の改良第二十五卷第九號 目次 昭和十八年九月一日發行

卷頭言

法令解説

自動車交通事業法並に同法附屬命令の改正に就て

内務省國土局
道路課 伴 純 夫(三)

研究

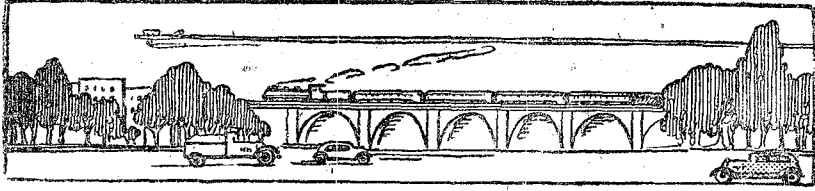
蘇聯領沿海州の歴史産業交通の概況

..... H T 生(二)

資料

曲げモーメントを受ける單鐵筋丁形梁の應力度算定係數表(下)

日本大學工學部 小野竹之助(二七)



說苑

歴代内務國土局長と其の時代 Ⅱ 新居善太郎氏 Ⅱ 清水生(五)

名古屋土木出張所職員録成 内務省名古屋土木出張所(四)

氷川瑣言 比路志生(五)

時局日誌(七十四) Y H 生(五)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例 Y A 生(七)

通牒 省營自動車路線道路費負擔協定促進ニ關スル件

質疑 道路工事執行令第六條ニ關スル件

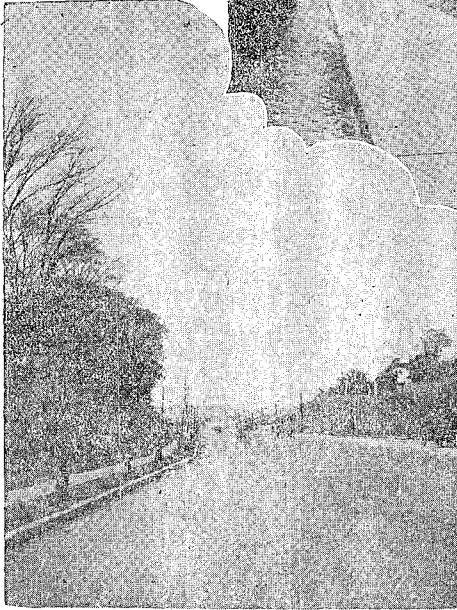
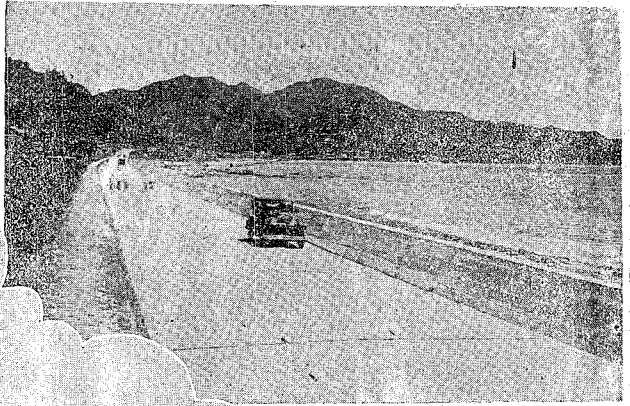
雜報

◎道路功績者の表彰◎第二回地方行政協議會長の會議◎弘津恭輔氏◎大熊貞邦氏◎森本

潔氏◎内務技師樋浦太三氏◎前常務理事新居善太郎氏◎島崎藤村氏◎評議員柴田善三郎

氏◎近刊圖書雜誌 (八一)

編輯室の内外 (八四)



淺野ポルトランドセメント
一般工事に用

淺野高爐セメント

下水工事ニ

好適

淺野ベロセメント

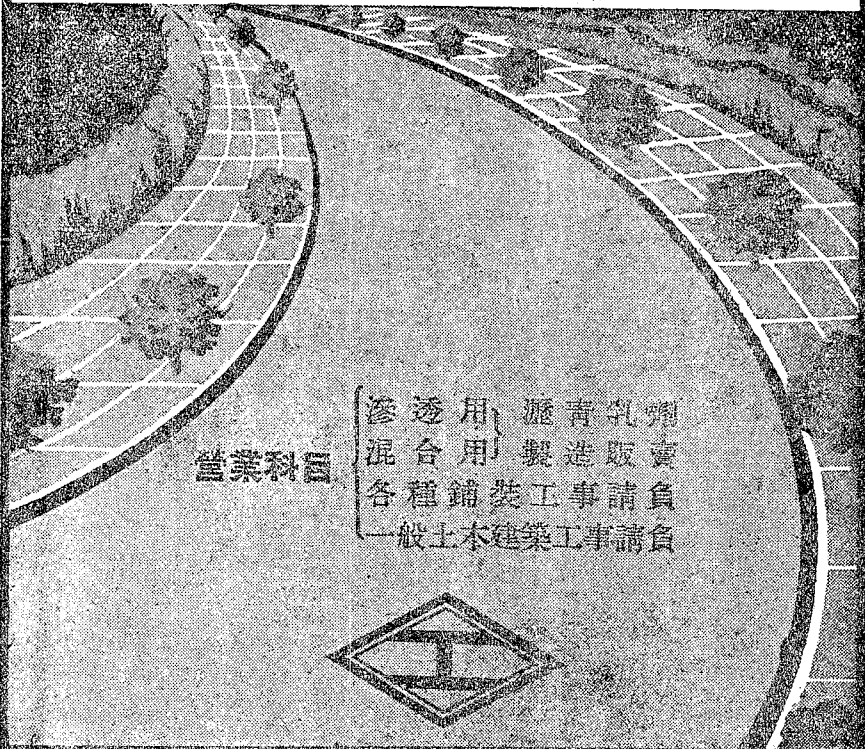
短期高強度
工事期間短縮
工事費節約

淺野セメント株式會社

東京都丸ノ内海上ビル

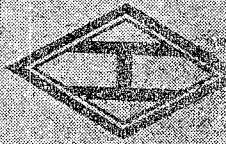
裝 鋪 路 道

(カタクノ贈呈)



營業科

瀝青乳劑
 製造販賣
 各種鋪裝工事請負
 一般土木建築工事請負



東邦工業合資會社

本社 { 東京都赤坂區青山北町四ノ一〇三
 電話青山(36)四九七三・八一四八
 工場 { 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二
 福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二
 營業所 { 名古屋市・京都市・大阪市
 岡山市・廣島市・小倉市・熊本市

特典附
新會員募集

日本土木工學會 牧 彦七先生監修

實用土木講座

初級・上級共に完成!!

内容の一部
 應用力學
 鐵筋コンクリート
 土木材料學
 河川工学
 測量學
 砂防工學
 水力發電
 都市計畫
 以上初級の一部

セメント系舗装
 堅道工
 基礎工
 農業土木
 航空土木
 高速鐵道
 土木地質學
 應用電氣工學
 土木工事監督
 以上上級の一部

入會の絶好機
 △初級一ヶ月三ヶ月修了。會費毎月一圓五錢。送料
 二月修了。會費毎月二圓。送料
 三月修了。會費毎月三圓。送料
 四月修了。會費毎月四圓。送料
 五月修了。會費毎月五圓。送料
 六月修了。會費毎月六圓。送料
 七月修了。會費毎月七圓。送料
 八月修了。會費毎月八圓。送料
 九月修了。會費毎月九圓。送料
 十月修了。會費毎月十圓。送料
 十一月修了。會費毎月十一圓。送料
 十二月修了。會費毎月十二圓。送料

師講
 工博牧彦七
 工博青木楠男
 工博森之農博赤木
 正雄技師水谷鐵道
 技師武富久他十數氏
 技師鴨下
 技師岩崎

東京都麹町區飯田町二ノ十一
 日本土木工學會
 振替東京二〇八三四番

振替東京二〇八三四番

新會員募集

八田嘉明先生監修 鐵道工學會會長

鐵道工學講座

全十一卷内容概略

會費一ヶ月二圓
 五十錢全卷三〇圓
 送料二五錢

内容見本
 申込
 急送

1 鐵道地質 鐵道技師 廣田 孝一
 2 線路選定 鐵道技師 大木 利彦
 3 線路土工 廣長鐵道技師 西岡 宏治
 4 鐵道橋 日大教授 成瀬 勝哉
 5 鐵道墜道 鐵道技師 佐藤周一郎
 6 軌道構造保線 鐵道技師 川口 祐廣
 7 信號保安設備 所大鐵道技師 藤原 孝一
 8 停車場 鐵道技師 岡田 信次
 9 都市鐵道 鐵道技師 山崎 信彌
 10 鐵道車輛 鐵道技師 多賀 祐重
 11 初級電氣工學 課大鐵道技師 池田 陽男
 12 工事關係法規 士法學 中島安一郎

東京都麹町區飯田町二ノ十一
 鐵道工學會
 振替東京五二二七番

振替東京五二二七番

昭和十八年

道路の改良

九月一日

第二十五卷
第九號

言 頭 卷

國土計畫の事たる近代國家經綸上最も緊切なるものである。故に企畫院に於ては昭和十五年十月國土計畫とは何か、其はなぜ必要か、いかに計畫を立てるかを説き尙從來の唯物的個人主義、自由主義、營利主義が行詰つたので國土計畫が策せられた。此國土計畫が立てられた曉には産業、經濟、交通、文化等の諸施設と人口の配分は合理的に編成せらるることとなり、國家の諸政策も國土計畫を基準として計畫的に統一的に推進せるやうになる。國土計畫に依つて我國の經濟建設の基本方式が確定すれば産業經濟等の不均衡、各種の行き違ひなどの問題も解決すると確信すと國土計畫の功能を述べて國土計畫設定要綱をも明示せられたるが其の後二年有半杳として如何に具現せられたか、如何なる方面に表現せられたか、吾人の募聞なる未だ之を耳にせざるを遺憾とする。其の發表せられたる中央計畫、策定要領、主要策定事項等を視るに之が實現を期せんとすれば速かに國土省の如き機關を設け處置するを適當とする。然れども國土省の如き一省を設けることは事至つて廣汎に涉り、容易に其の所管事項を定め難く、其の設置は慎重に検討を加へ、萬全を期せねばならぬので其の具現化は至難なりと視なければならぬ。

現在内務省に國土局あり數ヶ所に土木出張所を設く、又地方廳には土木部又は土木課ありて土木水道都市計畫等の行政を掌理して居るが消極的考察を爲すときは國の事業は勿論凡て土木事業に關する限り其の施工の責任を地方廳に委し、土木出張所は之を廢止するも敢て支障を來たすことなきもの如く思はる、之れ果して我邦の現在及將來に取りて適切なる機構なるや否、多事多難なる國勢を視るに容易に豫測するを許さず、如何に國運が發展すべきかは何人といへども豫言すること能はず、されど我邦の現在に於て大東亞共榮圈關係に在りて其の建設經綸如何を思ふときに決して消極的考察に甘んずべきにあらずと謂はざるを得ない。

企畫院の發表せられたる如く國土の愛護保全を旨とし、綜合的交通計畫、綜合的動力計畫、綜合的治山治水及利水計畫及單位地域計畫等を國土計畫の大部分と視るときは現在内務省國土局に於て其の多分の事務を掌理するが故に更らに動力計畫及地域計畫を加へ所屬せしめ國道は勿論重要な道路、重要な大中河川、重要な港灣の設備其の運営等をも國土局に移管して當該行政の統一綜合を計り、國土局を内務省の外局として長官を置き、各土木出張所の權限を擴張して恰かも地方行政協議會の地域の如く區域を劃して整備すること即ち積極的考察を加へて諸種の困難を克服し斷乎として之を擧行するを以て現下の情勢に徴し最も緊要適實なる措置なりと思料せらる。吾輩念ふ之れ則ち産業、交通、經濟等の問題を解決するの一捷徑たるに外ならず敢て一考せられんことを望む（洗民）